

第 22 回関西 MIS t 研究会開催報告

2018.11.17 梅田スカイビルタワーウエスト 36 階で第 22 回関西 MIS t 研究会を開催しました。おかげさまで参加人数 114 名（医師 62 名、コメディカル 52 名）が集まり活発な討議や実習が行われました。

特集 MIS SHORT FUSION では 6 名の先生にオープンと MIS t を合わせた固定術一般のコツと注意点、術式の使い分け、ASD 発生頻度と対応策、手術支援機械の使用状況をご講演頂きました。

招待講演 1 は 東大 大島寧先生の「脊椎低侵襲手術のメリットデメリット」でした。ショッキングな画像にあふれた合併症の講演でしたが、最後は上手にリカバリーされていたのが印象的でした。また私のリクエストで関東人は関西が苦手スライドをご提示いただいたのですが、予想に反し会場からは笑いが全然起こりませんでした。大島先生すべらせてゴメンナサイ。

招待講演 2 は 山梨大 波呂浩孝教授の「脊椎領域における骨粗鬆症の病態と対応策」でした。現在の Xcore にたどり着くまでの術式の変遷や、PTH 使用下での PLIF 骨癒合を興味深く拝聴しました。波呂先生が会長を務める 2019JSSR が無事開催～成功しますように。

従来の模擬骨を使用したハンズオンも Ns を中心に盛況でしたが、今回から導入した豚を使用したハンズオンも好評でした。事情があり豚はお見せできませんが写真から黙々と実習に励む若き Dr たちの熱気が伝わるのでしょうか？

一般演題を受ける時間的余裕がなかったという反省点もあるのですが、最後の懇親会も含め多くの人に関われる楽しい会にすることができたと安堵しています。

最後になりますがサポートして頂いた世話人、講演者、協賛企業、参加者各位に厚く御礼申し上げます。

次回は 2019.03.30（土） 綾部ルネス病院 深谷賢司先生が当番世話人で開催予定です。

第 22 回関西 MIS t 研究会 当番世話人
石井 正悦
(関西労災病院整形外科)

